

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 73



南北朝・戦国時代
最大級の山城跡をしのぶ

街から近く 歴史と自然豊かな地

大東市は、戦国時代に思いをはせることができる歴史と自然に触れ合うスポットがいっぱいです。市域を通る東高野街道は南北朝から戦国時代において南北をつなぐ交通の要所として数々の戦いの舞台となりました。

である飯盛城を居城としました。現在はずかに石塁が残るだけですが、今年も3月2日に武者行列が行われます。

飯盛山の山頂からは大阪平野が一望でき、晴天時は明石海峡大橋も見えます。麓にあるのが「慈眼寺(じげんじ)」。市民は昔から親しみを込め「野崎観音」と呼んでいます。

初心者でも楽しめる ハイキングコース

野崎観音から入る飯盛山ハイキングコースは大東市が「大東の杜(もり)」として整備し、ポイントごとに看板が立っています。休憩場所が多く、日ごろ体を動かしていない人も満喫できます。



飯盛山ハイキングコースの入口、慈眼寺「野崎観音」



北河内最古の石造九重層塔。造立は永仁2年(1294年)

1616年スティーブが えいが

アナログな人形たちが見せる 感情豊かなストップモーションアニメ

昨年2月に公開されたフランスとスイス合作のアニメ映画。人形をコマずつ動かして撮影するという手法で、時間をかけて丁寧に作られたストップモーションアニメです。

ママと二人暮らしの9歳の少年「ズッキーニ」、本当はイカールという名前ですが、ママの呼び名「ズッキーニ」がお気に入りです。パパが家を出て行ってからママは毎日酒浸りで怒ってばかり、いつも一人で絵を描いているズッキーニでした。

ある日、不慮の事故でママを死なせてしまい、事故を担当した優しいお巡りさんに連れられて孤児院へ。そこには、複雑な事情を抱えた子どもたちが暮らしていました。厳しいけれど優しく子どもたちに寄り添う園長やスタッフに囲まれ、ズッキーニは次第に施設の仲間と心を通わせ

ていきます。非番の日にズッキーニに会い来るお巡りさん。楽しい毎日が続く、いろんな出来事を通じて子どもたちは少しずつ大人になっていきます。

幼くして悲しみを知った子どもたちの表情は暗く、最初は少し怖いと感じましたが、いつの間にか愛おしくなりました。虐待など重いテーマを扱っているのに、ユーモア一杯で、幼い恋心、友情、スリリングな展開ありで、心温まる大人のためのアニメになっています。ドイツ人や日本のアニメとは違うフランスらしい味わいを楽しめるでしょう。

監督クロード・バラスの長編デビュー作で、第89回アカデミー賞の長編アニメーション部門にノミネートされたほか、世界中の映画祭で話題になりました。



この世界で、ぼくはひとりぼっちじゃなかった。

「ぼくの名前はズッキーニ」

Culture Navi かるちがーナび

作りませんか



プルコギ
交野市職労 国武 裕次さん
協力：現業評議会・給食部会

肉とたっぷり野菜の韓国風すき煮



材料(4人分)

- 豚肉140g、土しょうが(みじん切り)2g、にんにく(すりおろす)0.4g、キャベツ(12mm幅切り)180g、たまねぎ(4mm幅切り)140g、しめじ60g、人参(3×3mmの千切り)40g、ニラ(25mm幅切り)28g、もやし(2分の1に切り下ゆで)40g、菜種油1.2g、下味用(酒2g、砂糖2g、濃口しょうゆ4g)、酒4g、砂糖4.8g、濃口しょうゆ20g、みりん2g、コチジャン4.8g

作り方

- 油を熱し、土しょうが・にんにくを軽く炒める。
- 豚肉を加えて炒め、酒・砂糖・濃口しょうゆで下味をつける。
- にんじん・たまねぎを加え、しんなりするまで炒めたら調味料で味をつける。
- 下ゆでしたもやしとニラを加え仕上げる。

ボリューム満点、甘辛い味がしっかりとついていて、ごはんがすすみます。

今月の 記念日 普通選挙の日 2月20日

1928年のこの日、衆議院議員総選挙において日本初の普通選挙が実施されました。当時の選挙権は成年男子だけでした。1925年5月「普通選挙法」が制定され、財産(納税額)に関係なく、選挙権はすべての成年男性のものになりました。女性も参加した完全な普通選挙の実施は18年後の1946年4月10日、戦後初の衆議院議員総選挙から。この選挙の結果、日本初の女性議員39人が誕生しました。2015年、選挙権の年齢が18歳以上となりました。選挙権を「一部の人のもの」から「みんなのもの」にしてきた国民運動があった一方で、「政治不信・無関心」「選挙の棄権」が問題となっています。その原因の「政治の私物化」「ウソやごまかし」を許さない運動をすすめていきましょう。

1993年に「アパルトヘイト体制を平和的に終わらせて新しい南アフリカの礎を築いた」として、ノーベル平和賞を受賞しました。若くして反アパルトヘイト運動に身を投じ、1964年には国家反逆罪で終身刑の判決を受けます。27年間に及ぶ獄中生活の後、1990年に釈放。翌年、アフリカ民族会議の議長に就任。1994年には大統領に就任し、生涯をかけて白人・黒人の対立、格差の是正、黒人内の対立の解消などに力を注ぎました。彼の言葉は、どんな時も絶望の中に希望と未来を見つめ続けています。

楽観的であるということは顔を常に太陽へ向け足を常に前へ踏み出すことであるネルソン・マンデラ(1918年～2013年)南アフリカ共和国の政治家・弁護士

心に響く このひとこと